

立花学園 関東大会出場 No.1

立花学園が4月に行われた大会で優秀な成績を収め、関東大会に出場しました。関東大会に出場した部活の先生や選手にインタビューしました。



柔道部

男子(6年連続)
女子(初出場)

先生も予想外!
チャレンジ精神で初出場!



女子初の関東大会出場について、顧問の中島先生は「正直、関東大会に行けるとは全く思っていなかった。」ととても驚いていました。しかし、予想外だった分、男女そろっての関東大会出場の喜びやそこから得た自信は大きかったそうです。関東大会出場の要因を伺うと「1・2年生の若いチームだからこそ、負けを恐れず、チャレンジ精神で闘ったことで、肩の力が抜けて結果につながった」と話していました。

盤石の強さ発揮!

6年連続の関東大会出場!



男子は、6年連続の関東大会出場となり、目指していたものは「過去最高成績の関東大会で2勝」でした。結果は2回戦敗退となり、目標を超えることはできませんでしたが、男女そろってで出場できたことで、部全体の自信につながり、今後インターハイ出場に繋げていきたいとのことでした。

安定の強さを誇る男子と引き続き関東大会出場メンバーで闘える女子。初めて男女揃っての関東大会出場で自信を付けた柔道部の活躍に期待大です!

男子バスケットボール部

3年ぶり2回目

強みは、「速いバスケット」と「3ポイントシュート」

立花学園バスケットボール部は、平均身長が173cmと強豪校と比べ低いですが、小さいからこそできるバスケットを探求し、「速いバスケット」をスタイルとしています。バスケットボールには、自分たちに攻撃権が移ってから24秒以内にシュートを打たなければいけないルールがあります。この24秒ルールを立花学園の練習では14秒で行うことで、判断や攻守の切り替えの速さを意識し、「速いバスケット」に磨きをかけています。また、3ポイントシュートは、30%入ると良いと言われていますが、ベスト4を決めた試合では48・5%の決定率でした。「速いバスケット」の機動力と「3ポイントシュート」の高い決定率で関東大会出場を決めました。



選手の自主性を重んじる

大会のメンバー選考は、監督やコーチが選考するチームが多いですが、立花学園では選手たち自身の投票で決定します。これは選手たちの自主性を高めるだけでなく、1票でも自分に入ったときに励みになります。また、自分を選んでもらうために練習中に掛け声を出すなど、チームのために行動するように意識しています。

自分たちのスタイルでさらに上位を目指すバスケットボール部を応援しましょう!

